

日本骨髄バンクの現状（2025年10月末現在） ※数値は速報値のため訂正する場合があります。

登録者数	2025年9月	2025年10月	現在数	累計数
ドナー	2,187	3,576	565,858	1,014,677
患者	200	214	1,744	72,388

<年代別ドナー登録者現在数>

約43%	10代	5,099	*うち10月新規登録者は636人
	20代	100,442	
	30代	137,660	
	40代	207,762	
	50代	114,895	

<10月区分別ドナー登録者数>

献血ルーム	681人
献血併行型集団登録会	2,800人
集団登録会	39人
その他	56人

採取数	2025年9月	2025年10月	累計数
骨髄	52	55	27,430
末梢血幹細胞	34	49	2,699
合計	86	104	30,129

2023年8月号から海外採取は含まず、国内の採取のみを掲載しています。

骨髄バンクを介した造血幹細胞移植症例が累計3万例に到達

2025(令和7)年10月31日、骨髄バンクを介した非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞移植の累計症例数が、3万例に到達しました。1993(平成3)年の移植第1例目以来、移植を必要とする患者さんへ治療の機会を提供し続けられたのは、ドナーの皆さま一人ひとりの深い善意と、患者さん・ご家族を支える医療関係者、そして骨髄バンク事業に関わるすべての関係機関、そして全国のボランティアの皆さまの多大なるご協力のおかげです。心より御礼申し上げます。

移植累計3万例という新たな節目を迎えることを記念し、日本骨髄バンクは、非血縁者間造血幹細胞移植によって人生を歩み続けている移植経験者の方たちに焦点を当てた、新たな企画を進行中です。

本企画の詳細につきましては、近日中に[日本骨髄バンクの公式X](#)（旧Twitter）などを中心に改めてお知らせいたしますので、ぜひご期待ください。

なお、本件に関するプレスリリースは2025年11月14日(金)14時に発行予定です。

骨髄バンク推進月間、全国で3,576人がドナー登録

10月の骨髄バンク推進月間にあわせ、ドナー登録会や関連イベントが全国各地で開催されました。10月の新規登録者数は、3,576人と今年も多くの方にドナー登録いただきました。

テレビや新聞などさまざまなメディアでも取り上げていただき、多くの方に骨髄バンクの現状や課題、取り組みを知っていただく機会となりました。

普及啓発活動にご協力くださった関係者の皆さま、そして取材・報道いただいたメディア各社に心より感謝申し上げます。

「2025 LIVE FOR LIFE音楽彩～本田美奈子.メモリアル～」開催

11月3日(月・祝)に日本橋三井ホールで「2025 LIVE FOR LIFE音楽彩～本田美奈子.メモリアル～より優しくより素晴らしく 人は生きる為に生れた」が開催されました。このコンサートは、2005年に急性骨髄性白血病のため38歳で旅立った本田美奈子.さんの願いを受け、(認定)特定非営利活動法人リブ・フォー・ライフ美奈子基金が開催しているもので、今年で18回目を迎えます。

今年は、本田美奈子さん.没後20年という節目の大切な年の「音楽彩」。

ボランティアで出演する様々なジャンル・年代のアーティストが、本田美奈子.さんゆかりの楽曲で会場を盛り上げました。第1回から出演している早見優さん、松本伊代さん。そして同期デビューである森口博子さんなど本田さんとの交流があったアーティストに加え、新浜レオンさんや田中あいみさんなど若い世代のアーティストも出演しました。

本田美奈子.さんの音楽への情熱、そして「生きること」への強い想いに思いをはせたコンサートとなりました。彼女のメッセージが今も多くの方に受け継がれていることを感じる、心あたたまる時間でした。



11/8 (土)・11/9 (日) 東京雪祭 SNOWBANK PAY IT FORWARD 2025に参加

11月8日(土)・9日(日)の2日間、一般社団法人SNOWBANK主催の「東京雪祭 SNOWBANK PAY IT FORWARD 2025」に参加しました。

代々木公園イベント広場で開催された本イベントでは、献血・骨髄ドナー登録も実施。結果は、受付数401名に対し、献血実施数が357名、骨髄ドナー登録数が49名でした。目標には届かなかったもののアーティストやアスリートのパフォーマンスをはじめ、多くのご家族連れやファンの方々にぎわい、開放的な雰囲気になっていました。

骨髄バンクのブースでは、来年度から始まるスワブ登録や、日常の中でできる身近な支援アクションについて知っていただくためのアンケートを実施。

回答してくださった方には、オリジナルグッズが当たる抽選会にご参加いただきました。またイベント会場ならではの楽しさを感じていただけるよう、本イベント限定のタトゥーシールもお配りしました。

雨模様になった2日目も多くの方が立ち寄ってくださり、最終的に300名以上がアンケートにご協力くださいました。

当日はユースアンバサダー3名に加え、慶應義塾大学SFCの学生団体「つなぐ」の皆さん、品川女子学院作画部の皆さんにもサポートいただき、若い世代の視点から骨髄バンクの現状を伝える機会を一緒に作り上げました。多くの方々の協力のもと、骨髄バンクの取り組みを楽しく・身近に感じていただけた2日間となりました。

■イベントについての詳細は、こちらからご覧ください。

<https://sbpif.net/tokyosnowfes/>



スワブトライアル3の実施・新チャンス使用開始延期のお知らせ

スワブ登録のトライアル3は、資材供給の影響により実施が延期となりました。これに伴い、新しいチャンス（2025年10月改定版）についても、使用を見合わせる事となりました。この度の急な変更に伴い、全国各地の関係者の皆様にはご調整をお願いするなど多大なご迷惑をお掛けしておりますこと、心よりお詫び申し上げます。

当面は現行のチャンス（2024年4月改定版）をご使用ください。資材請求フォームからご依頼いただけます。また、新チャンスは新たな使用開始日を迎えるまで、お手元で保管をお願いいたします。期日までに新チャンスをお使いにならないよう、ご協力をお願い申し上げます。

若年ドナーの新規獲得のため、日本骨髄バンクはスワブ登録の本格導入を目指し、引き続きトライアル3の準備を進めて参ります。新たなスワブトライアル3の開始日ならびに新チャンス使用開始日は2026年1月中旬以降で調整中となっております、MONTHLY JMDP12月号などで状況をお知らせいたします。

2025年度地区普及広報委員・説明員研修会について(続報)

2025年度地区普及広報委員・説明員研修会は、研修コンテンツをYouTubeに限定公開する方法で実施しています。研修コンテンツの第1弾、第2弾が地区普及広報委員・説明員特設サイトに掲載されております。今後の研修コンテンツにつきましては、11月後半にアップロード予定です。

説明員専用LINEの友だち登録方法と地区普及広報委員・説明員特設サイトURLは説明員養成研修で配布しているマニュアルに記載されておりますので、地区普及広報委員・説明員のみなさまにおかれましては、各自ご確認をお願い申し上げます。

ドナー助成制度導入、1104自治体に

「骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が下記の自治体で導入され、全国で1104自治体となりました。（2025年10月末現在、当法人把握分）

○北海道 北広島市

助成内容は各自治体により異なりますので、直接お問い合わせください。

■導入リスト https://www.jmdp.or.jp/pdf/donation/donorsupport/assistance/donor_municipality.pdf

◇ドナー助成制度問い合わせ先

日本骨髄バンク広報渉外部 ドナー助成制度担当 03-5280-1789（平日9時～17時30分）

ドナー休暇制度導入、913企業・団体に

就業ドナーの方にとって提供しやすい環境を整備するため、「ドナー休暇制度」の導入を全国の企業や団体へ呼びかけております。

現在913の企業や団体、大学等が導入しています（2025年10月末現在、当法人把握分）。

■導入リスト <https://www.jmdp.or.jp/pdf/donation/donorsupport/donorleave/donorleave.pdf>

既に制度を導入・運用していて上記リストに未掲載の場合は、下記の問い合わせ先までご一報ください。申請に必要な「導入連絡書」（エクセルファイル）は[こちら](#)からダウンロードしてご利用ください。

◇ドナー休暇制度・ドナー公欠制度問い合わせ先

日本骨髄バンク広報渉外部 ドナー休暇・公欠制度担当 03-5280-1789（平日9時～17時30分）